

改正

平成28年3月30日鋸南町規則第31号

令和3年6月15日鋸南町規則第7号

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例施行規則

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及びたい積の規制に関する条例施行規則（平成18年12月20日鋸南町規則第29号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例（平成27年鋸南町条例第9号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（安全基準）

第2条 条例第5条の規則で定める安全基準は、別表第1の項目の欄に掲げる項目に応じ、当該基準値の欄に定めるとおりとする。

2 前項の安全基準に適合しているかどうかは、別表第1の項目の欄に掲げる項目ごとに、当該項目に係る汚染の状況を的確に把握することができると思われる場所において試料を採取し、それぞれ同表の測定方法の欄に掲げる方法により測定した測定値により判断するものとする。

（公共的団体の範囲）

第3条 条例第6条第1項第1号の規則で定める公共的団体は、次に掲げる者とする。

- （1） 独立行政法人都市再生機構、国立研究法人森林研究・整備機構、独立行政法人水資源機構、東日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、日本下水道事業団、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、成田国際空港株式会社、独立行政法人空港周辺整備機構、独立行政法人労働者健康安全機構、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構及び独立行政法人中小企業基盤整備機構
- （2） 地方住宅供給公社法（昭和40年法律第124号）に基づき設立された地方住宅供給公社
- （3） 地方道路公社法（昭和45年法律第82号）に基づき設立された地方道路公社
- （4） 公有地の拡大の推進に関する法律（昭和47年法律第66号）第10条第1項の規定により設立された土地開発公社
- （5） 土地改良法（昭和24年法律第195号）第10条第1項の規定により認可された土地改良区
- （6） 土地区画整理法（昭和29年法律第119号）第14条第1項の規定により認可された土地区画整

理組合

(7) 地方公共団体がその資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資している法人であって、土壌の汚染又は災害の防止に関し、地方公共団体と同等以上の審査能力があるものとして町長の認定を受けたもの

2 前項第7号の規定による町長の認定を受けようとする者は、公共的団体認定申請書（別記第1号様式）を町長に提出しなければならない。

（許可の必要のない事業の届出）

第4条 条例第6条第2項の規定による届出は、当該小規模事業に着手する日の10日前までに、小規模事業（一時堆積小規模事業）届（別記第2号様式）を提出して行わなければならない。

2 条例第6条第2項の規則で定める書類及び図面は、次に掲げるものとする。

- (1) 第10条第2項第1号、第2号、第5号から第9号まで及び第12号に掲げる書類及び図面
- (2) 第7条第2項に規定する事業区域内施工同意書
- (3) 前2号に掲げるもののほか、町長が必要と認める書類及び図面
（面積を合算する区域）

第5条 条例第6条第3項の規則で定める区域は、土砂等の埋立て等に供する区域に近接し、同一又は関連の事業であると町長が認める区域とする。

（適用除外）

第6条 条例第6条第1項第4号の規定による町長が許可の必要がないと認める事業等は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 自己の居住する住宅建設の用に供するため、自己の宅地に盛土を行う事業で山砂又は町内で採取した土砂等による小規模事業であって最大高さが1m未満の事業
- (2) 土地の整地を行う場合であって、製品による盛土又は当該整地を行う区域以外からの土砂等の搬入を伴わない盛土を行う事業
- (3) 町内で生産される製品の販売を目的とする一時堆積事業
- (4) 農地法（昭和27年法律第229号）第4条又は第5条による一時転用又は客土事業で山砂又は町内で採取した土砂等を使用し、埋立て等の高さが1m未満かつ面積3,000㎡未満の事業
- (5) 自らの耕作の用に供するため、所有権その他の耕作に関する権原を有する農地に自ら客土する事業

（埋立事業の施工の妨げとなる権利を有する者の同意）

第7条 条例第7条（条例第16条において準用する場合を含む。以下この条において同じ。）の規

則で定める埋立事業の施工の妨げとなる権利を有する者は、事業区域内の土地につき地上権、永小作権、質権、地役権又は賃借権を有する者とする。

2 条例第7条の規定による同意は、事業区域内施工同意書（別記第3号様式）によらなければならない。

3 前項に規定する同意書には、当該同意をした者が押印した印鑑に係る印鑑登録証明書（法人である場合にあつては、代表者の印鑑証明書であつて登記所が発行したもの）を添付しなければならない。

（周辺土地所有者等の承諾）

第8条 条例第8条（条例第16条において準用する場合を含む。以下この条において同じ。）第1項の規則で定める範囲の土地の所有者は、当該事業区域から10メートル以内の土地所有者とする。

2 条例第8条第1項の規定による周辺土地所有者の承諾は、周辺土地所有者承諾書（別記第4号様式）によらなければならない。

3 条例第8条第2項の規則で定める事業区域の近隣の住民は、当該事業区域から300メートル以内の区域に居住する者とする。

4 条例第8条第2項の規定による近隣の住民の承諾は、近隣住民承諾書（別記第5号様式）によらなければならない。

5 条例第8条第2項に規定する事業区域の近隣の住民の承諾は、第3項に規定する世帯の10分の8以上の世帯の代表者及び当該区域が属する地域の区長から得なければならない。

6 条例第8条第3項の規定による承諾は、関係者承諾書（別記第6号様式）によらなければならない。

（事前協議）

第9条 条例第9条第1項の規定による協議は、埋立事業事前協議書（別記第7号様式）を提出して行わなければならない。

2 条例第9条第1項の規定による協議は、次に掲げる書類及び図面を提出しなければならない。ただし、協議に係る事業等の内容等により町長が認めるものについては添付を省略することができる。

（1） 第10条第2項第5号から第9号まで、第11号、第13号、第15号から第20号まで及び第25号に掲げる書類及び図面

（2） 事業区域に係る表土の地質検査の試料とする土砂等を採取する地点の位置図（当該表土と埋立事業に使用される土砂等が遮断される構造である場合にあつては、その構造図）

- (3) 住民説明の計画書（許認可土砂等による埋立事業であって、小規模事業及び最大高さが1メートル未満となる特定事業の場合を除く。）
 - (4) 条例第13条第1項第3号キに規定する未成年者（以下「未成年者」という。）である場合には、その法定代理人の氏名及び住所を記載した書面
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認める書類及び図面
- 3 条例第9条第1項の規定による協議であって一時堆積事業の場合は、一時堆積事業事前協議書（別記第8号様式）を提出して行わなければならない。
- 4 条例第9条第1項の規定による協議であって一時堆積事業の場合は、次に掲げる書類及び図面を提出しなければならない。
- (1) 第10条第2項第5号から第9号まで、第13号、第19号、第20号及び第25号に掲げるもの
 - (2) 第2項第2号から第4号までに掲げるもの
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、町長が必要と認める書類及び図面
- 5 条例第9条第2項及び条例第16条第4項の規定による住民説明は、別表第5に掲げる住民に対し、説明会を開催して行うものとし、当該説明会の開催の周知を図るとともに、当該住民以外の者の出席を拒んではならない。ただし、条例第9条第1項に規定する協議を行った者の責めに帰することのできない事由により当該説明会を開催することができない場合においては、その埋立事業の計画を記載した資料を配布する方法等により行うことができる。
- 6 条例第9条第2項及び条例第16条第4項の規定による住民説明の終了後、埋立事業説明実施状況報告書（別記第9号様式）を提出しなければならない。
- 7 町長は、条例第9条第1項の規定による協議が成立したときは、当該協議を行った者に対し、埋立事業事前協議済書（別記第10号様式）により通知するものとする。この場合において、申請者に埋立事業事前協議済書を交付した日から起算して2年以内に条例第11条に規定する許可の申請がされない場合には、その効力を失う。
- 8 条例第9条第1項の規定による協議の期間は協議開始から2年以内とする。ただし、町長が必要と認める場合は、この限りでない。
- 9 前項ただし書の協議を申し出ようとする者は、埋立事業事前協議延長申出書（別記第11号様式）により、当該協議の延長を申し出なければならない。
- （許可の申請）

第10条 条例第11条第1項に規定する申請書は、埋立事業許可申請書（別記第12号様式）とする。

- 2 条例第11条第1項の規則で定める書類及び図面は、次に掲げるものとする。ただし、協議に係

る事業等の内容等により町長が認めるものについては添付を省略することができる。

- (1) 住民票の写し（法人である場合にあつては、法人の登記事項証明書）
- (2) 印鑑登録証明書（法人である場合にあつては、代表者の印鑑証明書であつて登記所が発行したもの）
- (3) 申請者が条例第13条第1項第3号ア及びカのいずれにも該当しない者であることの誓約書（別記第13号様式）
- (4) 申請者が未成年者である場合には、その法定代理人の住民票の写し及び前号の誓約書
- (5) 事業場の位置図、全景がわかる写真及び付近の見取図
- (6) 事業区域への土砂等の搬入（一時堆積事業の場合にあつては、搬入及び搬出）予定経路図
- (7) 事業場の平面図及び断面図であつて、埋立事業の施工の前後の構造が確認できるもの（一時堆積事業にあつては、土砂等の堆積が最大となった場合の当該堆積の構造が確認できるもの）
- (8) 事業場及び事業区域の求積図
- (9) 事業場の土地及び事業区域に隣接する土地の登記事項証明書及び公図の写しであつて、当該土地の所有者名を記載したもの
- (10) 事業区域の表土の地質検査の試料とした土砂等を採取した地点の位置図及び現場写真並びに第7項第2号の規定により採取した試料ごとの検査試料採取調書（別記第14号様式）及び地質分析（濃度）結果証明書（別記第15号様式。計量法（平成4年法律第51号）第122条第1項の規定により登録された計量士のうち濃度に係る計量士（以下「環境計量士」という。）が発行したものに限る。以下同じ。）
- (11) 埋立事業に使用される土砂等の予定量の計算書
- (12) 埋立事業に使用される土砂等が許認可土砂等の場合にあつては、それを証する土砂等売渡・譲渡証明書（別記第16号様式）
- (13) 排水関連の書類（湧水がある土地、地表水が集中しやすい土地及び自然排水を遮断するような地形構造の場合にあつては、排水に係る施設の設置その他の有効な排水に係る措置の図面、流量計算書及び流域の図面、調整池等の設置が必要な場合にあつては当該調整池等の容量計算書及び構造図等の図面）
- (14) 事業区域内で採水するための方法を記載した書面
- (15) 土質試験等に基づき埋立て等の構造の安定計算を行った場合にあつては、当該安定計算書
- (16) 擁壁を用いる場合にあつては、当該擁壁の断面図及び背面図
- (17) 鉄筋コンクリート造又は無筋コンクリート造の擁壁を用いる場合にあつては、当該擁壁の

概要、構造計画、応力算定及び断面算定を記載した構造計算書

- (18) 埋立事業の施工に係る方法、工程、組織その他町長が指示する事項を記載した埋立て事業
施工計画書
 - (19) 埋立事業が別表第4に掲げる行為に該当する場合にあっては、当該行為に該当することを
証する書面
 - (20) 現場責任者であることを証する書面
 - (21) 第7条第2項に規定する埋立て事業区域内施工同意書
 - (22) 第8条第2項に規定する周辺土地所有者承諾書
 - (23) 第8条第4項に規定する近隣住民承諾書
 - (24) 第8条第6項に規定する関係者承諾書
 - (25) 特定事業にあっては、事業区域から300メートル以内の範囲の区域に居住する者の世帯数調
査書（別記第17号様式）
 - (26) 前条第7項に規定する埋立事業事前協議済書
 - (27) 手数料を納めたことを証する書面
 - (28) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認める書類及び図面
- 3 条例第11条第1項第12号の規則で定める事項は、申請者が未成年者である場合には、その法定
代理人の氏名及び住所とする。
- 4 条例第11条第2項に規定する申請書は、一時堆積事業許可申請書（別記第18号様式）とする。
- 5 条例第11条第2項の規則で定める書類及び図面は、次に掲げるものとする。
- (1) 第2項第1号から第9号まで、第13号及び第18号から第27号までに掲げる書類及び図面
 - (2) 事業区域の表土と埋立事業に使用される土砂等が遮断される構造である場合にあっては、
その構造図
 - (3) 事業区域の表土と埋立事業に使用される土砂等が遮断されない場合にあっては、
第2項第10号に掲げる書類及び図面
 - (4) 事業場内で採水するための方法を記載した書面
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認める書類及び図面
- 6 条例第11条第2項第7号の規則で定める事項は、申請者が未成年者である場合には、その法定
代理人の氏名及び住所とする。
- 7 第2項第10号に規定する事業区域の表土の地質検査は、次に掲げる方法によらなければならない
い。

- (1) 地質検査は、次の表の左欄に掲げる事業区域の面積に応じ、それぞれ当該右欄に定める数以上の区域に等分して行うこと。

500平方メートル以上3,000平方メートル未満	1
3,000平方メートル以上1ヘクタール未満	2
1ヘクタール以上2ヘクタール未満	3
2ヘクタール以上3ヘクタール未満	4
3ヘクタール以上4ヘクタール未満	5
4ヘクタール以上5ヘクタール未満	6
5ヘクタール以上6ヘクタール未満	7
6ヘクタール以上7ヘクタール未満	8
7ヘクタール以上8ヘクタール未満	9
8ヘクタール以上9ヘクタール未満	10
9ヘクタール以上10ヘクタール未満	11
10ヘクタール以上	12

- (2) 地質検査のための試料とする土砂等の採取は、前号の規定により区分された区域ごとに土砂等の汚染の状況を的確に把握することができると思われる場所において行うこと。

- (3) 地質検査は、前号の規定により採取された試料について、それぞれ、別表第1に掲げる項目ごとに、同表に掲げる測定方法により行うこと。

(協議会)

第11条 条例第6条第4項による協議会は、次の者をもって組織する。

- (1) 副町長
- (2) 総務企画課長
- (3) 地域振興課長
- (4) 教育課長
- (5) 建設水道課長
- (6) その他町長が必要と認める者

2 協議会に関する事項は別に定める。

(許可又は不許可の決定)

第12条 町長は、条例第11条の許可申請、条例第16条第3項の変更許可申請及び条例第26条第2項

の譲受け許可申請があった場合において、許可又は不許可の決定をしたときは、埋立事業に係る許可（不許可）決定通知書（別記第19号様式）により当該許可を申請した者に通知するものとする。

（許可の基準）

第13条 条例第13条第1項第3号の規則で定める基準は、埋立て等に関する土砂等の性質が建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（平成3年建設省令第19号）別表第1に掲げる改良土を除く第1種建設発生土、第2種建設発生土又は第3種建設発生土に該当する土砂等で、水素イオン濃度指数が別表第1に掲げる基準値であることとする。ただし、町長が特別の理由があると認めるときはこの限りでない。

2 条例第13条第1項第10号の規則で定める構造上の基準は、別表第2に定めるとおりとする。

3 条例第13条第2項第2号の規則で定める構造上の基準は、別表第3に定めるとおりとする。

（構造上の基準に係る適用除外）

第14条 条例第13条第3項の規則で定めるものは、別表第4に掲げる行為とする。

（変更の許可の申請等）

第15条 条例第16条第1項の規則で定める軽微な変更は、次に掲げるものとする。

- （1）氏名又は名称及び住所又は所在地並びに法人の代表者の氏名の変更
- （2）法定代理人の氏名又は住所の変更
- （3）現場事務所の位置の変更
- （4）現場責任者の職名又は氏名の変更
- （5）埋立事業に使用される土砂等の量の変更（当該土砂等の量を減少させるものに限る。）
- （6）埋立事業に使用される土砂等の搬入計画の変更（発生元及び発生元事業者の変更は除く。）
- （7）水質検査の試料を採取する方法の変更
- （8）埋立事業に使用される土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の発生を防止するために必要な措置として、事業区域内に設けた排水施設又は事業区域外に設けた柵の構造の変更（排水施設又は柵の機能を高めるものに限る。）

2 条例第16条第3項の規則で定める申請書は、埋立事業（一時堆積事業）変更許可申請書（別記第20号様式）とする。

3 条例第16条第3項の規則で定める書類及び図面は、条例第11条第1項の申請に係る許可の変更の場合にあっては第10条第2項各号、条例第11条第2項の申請に係る許可の変更の場合にあっては第10条第5項各号に掲げる書類及び図面のうち変更に係るもの並びに手数料を納めたことを証

する書面とする。

4 条例第16条第10項の規定による町長への届出は、第1項に規定する軽微な変更をした日から起算して10日以内に埋立事業軽微変更届（別記第21号様式）を提出して行わなければならない。

5 前項の届出には、変更事項を証する書類を添付するものとする。

（埋立事業の着手の届出）

第16条 条例第18条の規定による届出は、埋立事業に着手した日から起算して10日以内に埋立て事業着手届（別記第22号様式）を提出して行わなければならない。

（土砂等の搬入の届出等）

第17条 条例第19条の規定による届出は、土砂等を搬入しようとする日の7日前までに、土砂等の量が5,000立方メートルまでごとに、土砂等搬入届（別記第23号様式）を提出して行わなければならない。

2 条例第19条の当該発生場所から発生し、又は採取された土砂等であることを証するために必要な書面で規則で定めるものは、次に掲げるものとする。

（1）当該土砂等の発生場所の責任者が発行した土砂等発生元証明書（別記第24号様式）

（2）土砂等の発生場所の位置図

（3）土砂等の発生場所の平面図であつて、発生又は採取位置を記載したもの

（4）土砂等の発生場所の現場写真

（5）土砂等の発生場所から事業区域への土砂等の搬入経路図

3 条例第19条の事業区域に搬入しようとする土砂等が安全基準に適合していることを証するために必要な書面で規則で定めるものは、当該土砂等の量の5,000立方メートルまでごとの検査試料採取調書及び地質分析（濃度）結果証明書とする。

4 前項の搬入しようとする土砂等に係る地質分析（濃度）結果証明書を作成するために行う当該土砂等の地質分析は、それぞれ別表第1に掲げる項目ごとに、同表に掲げる測定方法により行わなければならない。

5 条例第19条第1号の許認可土砂等であることを証するために必要な書面で規則で定めるものは、土砂等売渡・譲渡証明書とする。

（土砂等管理台帳）

第18条 条例第20条第1項の規則で定める土砂等管理台帳は、土砂等管理台帳（別記第25号様式）又は一時堆積土砂等管理台帳（別記第26号様式）とする。

2 条例第20条第1項の規則で定める土砂等管理台帳は、毎月の末日までに、当該月中における事

項について記載を終了していなければならない。

- 3 条例第20条第1項の規則で定める土砂等管理台帳は、毎年3月末日をもって閉鎖しなければならない。

(土砂等の量等の報告)

第19条 条例第20条第2項の規定による報告は、埋立事業に着手した日から1月ごとに当該月を経過した日から1週間以内（埋立て事業の中止をしようとするとき（当該中止をしようとする期間が2月以上であるときに限る。）にあつては当該中止をしようとする期間の開始の日から1週間以内、埋立て事業を廃止し、又は完了したときにあつては条例第24条第2項又は条例第25条第1項の規定による届出のとき）に、埋立事業状況報告書（別記第27号様式）又は一時堆積事業状況報告書（別記第28号様式）を提出して行わなければならない。

(地質検査)

第20条 条例第21条第1項の規則で定める地質検査は、埋立事業にあつては着手した日から3月ごと（最大高さが5メートル以上となる特定事業にあつては着手した日から3月ごと及び1段が完成するごと）、条例第24条第2項の規定による廃止の届出又は条例第25条第1項の規定による完了の届出にあつては町長が指定する期日に、町長の指定する職員の立会いの上、次に掲げる方法により行わなければならない。

- (1) 地質検査は、事業区域を3,000平方メートル以内の区域に等分して行うこと。
- (2) 地質検査のための試料とする土砂等の採取は、前号の規定により区分された区域の中央地点及び当該中央地点を交点に直角に交わる2直線上の当該中央地点から5メートルから10メートルまでの4地点（当該地点がない場合にあつては、中央地点を交点に直角に交わる2直線上の当該中央地点と当該区域の境界との中間の4地点）の土壌について行うこと。ただし、町長の指定する職員が地点を指定する場合にあつては、指定された地点で行うものとする。
- (3) 前号の規定により採取する土砂等は、それぞれの採取地点において等量とし、採取後、第1号の規定により区分された区域ごとに混合し、それぞれの区域ごとに1試料とすること。ただし、町長が承認した場合にあつては、町長が定めるところにより、第1号の規定により区分された複数の区域から採取された土砂等を混合し、1試料とすることができる。
- (4) 地質検査は、前号の規定により作成された試料について、それぞれ1に掲げる項目ごとに、同表に掲げる測定方法により行うこと。

- 2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる場合にあつては、地質検査は省略することができる。

- (1) 埋立事業が一時堆積事業であつて、一の土砂等搬入届に係る土砂等ごとに当該土砂等が区

分された状態で堆積されている場合

(2) 条例第25条第1項の規定による完了の届出であって、表土と埋立事業に使用される土砂等が遮断される構造である場合

(3) 前2号に掲げるもののほか、町長が特に必要でないと認める場合

(水質検査)

第21条 条例第21条第1項の規則で定める水質検査は、埋立事業にあつては着手した日から3月ごと（最大高さが5メートル以上となる特定事業にあつては着手した日から3月ごと及び1段が完成するごと）、条例第24条第2項の規定による廃止の届出又は条例第25条第1項の規定による完了の届出にあつては町長が指定する期日に、町長の指定する職員の立会いの上、試料を採取し、別表第1に掲げる項目ごとに、同表に掲げる測定方法により行わなければならない。ただし、町長が特に必要でないと認める場合にあつては、当該水質検査を省略することができる。

(地質検査等の報告)

第22条 条例第21条第1項の規定による報告は、前2条の規定により検査した日から1月以内（条例第24条第2項の規定による廃止の届出又は条例第25条第1項の規定による完了の届出にあつては、町長が指定する期日）に、埋立事業地質等検査報告書（別記第29号様式）に次に掲げる書類及び図面を添付して行わなければならない。

(1) 検査に使用した試料を採取した地点の位置図及び現場写真

(2) 第20条の規定により採取した試料ごとの検査試料採取調書及び地質分析（濃度）結果証明書

(3) 前条の規定により採取した試料の検査試料採取調書及び水質分析（濃度）結果証明書（別記第30号様式。環境計量士の発行したものに限る。）

2 条例第21条第2項の規定による報告は、条例第6条第1項の許可を受けた者が当該許可に係る事業区域の土壌中に安全基準に適合しない土砂等があることを確認したときは、当該確認した日から起算して7日以内に町長に報告しなければならない。

(関係書類等の縦覧)

第23条 条例第22条の規則で定める住民等は、別表第5に掲げる者とする。

(標識)

第24条 条例第23条第1項の規則で定める標識は、埋立事業に関する標識（別記第31号様式）とする。

2 条例第23条第1項の規則で定める標識の記載事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 埋立事業の許可年月日及び許可番号
- (2) 埋立事業の目的
- (3) 事業場の土地の所在地
- (4) 土砂等の埋立て等を施工する者の氏名又は名称、住所又は所在地及び連絡先の電話番号並びに法人にあっては代表者の氏名
- (5) 埋立事業の許可の期間
- (6) 事業場及び事業区域の面積
- (7) 埋立事業に使用される土砂等の量（一時堆積事業にあっては、年間の埋立事業に使用される土砂等の搬入及び搬出の予定量）
- (8) 現場責任者の職名及び氏名
- (9) 事業場及び事業区域の見取図

3 条例第23条第2項に規定する表示は、旗等の設置によるものとする。

（埋立事業の廃止等に係る届出）

第25条 条例第24条第2項の規定による届出は、当該埋立事業の廃止にあっては廃止した日から起算して10日以内に、中止にあっては中止しようとする日までに、埋立事業廃止（中止）届（別記第32号様式）を提出して行わなければならない。

2 前項の届出に添付する書類及び図面は、次に掲げるものとする。

- (1) 事業場の平面図及び断面図であって、埋立事業の施工前後の構造が確認できるもの
- (2) 埋立事業を中止する場合にあっては、工程表
- (3) 埋立事業に使用した土砂等の土量計算書

3 条例第24条第4項に規定する通知は、埋立事業廃止（中止）確認通知書（別記第33号様式）によるものとする。

4 中止した当該埋立事業を再開したときは、当該埋立事業を再開した日から起算して10日以内に埋立事業再開届（別記第34号様式）を提出しなければならない。

（埋立事業の完了に係る届出）

第26条 条例第25条第1項の規定による届出は、当該埋立事業を完了した日から起算して10日以内に、埋立事業完了届（別記第35号様式）を提出して行わなければならない。

2 前項の届出に添付する書類及び図面は、次に掲げるものとする。

- (1) 事業場の平面図及び断面図であって、埋立事業の施工前後の構造が確認できるもの
- (2) 埋立事業に使用した土砂等の土量計算書

3 条例第25条第2項に規定する通知は、埋立事業完了確認通知書（別記第36号様式）によるものとする。

（譲受けの許可の申請）

第27条 条例第26条第2項の規則で定める申請書は、埋立事業譲受け許可申請書（別記第37号様式）とする。

2 条例第26条第2項の規則で定める書類は、次に掲げるものとする。

- （1）住民票の写し（法人である場合にあつては、法人の登記事項証明書）
- （2）印鑑登録証明書（法人である場合にあつては、代表者の印鑑証明書であつて登記所が発行したもの）
- （3）第10条第2項第3号に規定する誓約書
- （4）申請者が未成年者である場合には、その法定代理人の住民票の写し及び前号の誓約書
- （5）現場責任者であることを証する書面
- （6）手数料を納めたことを証する書面
- （7）前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認める書類

3 条例第26条第2項第4号の規則で定める事項は、次に掲げるものとする。

- （1）譲り受けようとする埋立事業の許可年月日及び許可番号
- （2）事業場の土地の所在地
- （3）譲り受けようとする埋立事業の許可の期間
- （4）現場責任者の職名及び氏名
- （5）譲受けの理由

（相続等の届出）

第28条 条例第27条第2項の規定による届出は、当該埋立事業を承継した日から起算して10日以内に埋立て事業相続等届（別記第38号様式）を提出して行わなければならない。

（措置命令）

第29条 条例第28条の規定による措置命令は、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積行為措置命令書（別記第39号様式）により行うものとする。

（許可の取消しの通知）

第30条 条例第29条第1項の規定による許可の取消しの通知は、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積行為許可取消し通知書（別記第40号様式）により行うものとする。

（報告の期限）

第31条 条例第34条の規定により、町長から土砂等の埋立て等の業務に関し報告を求められた者は、当該報告を求められた日から起算して10日以内に報告しなければならない。

(立入検査員証明書)

第32条 条例第35条第2項に規定する証明書は、立入検査員証明書(別記第41号様式)とする。

(書類等の提出)

第33条 条例第9条第1項の規定による協議、条例第11条第1項及び第2項、条例第16条第3項並びに条例第26条第2項の規定による申請、条例第6条第2項、条例第16条第10項、条例第18条、条例第19条、条例第24条第2項、条例第25条第1項及び条例第27条第2項の規定による届出並びに条例第20条第2項及び条例第21条第1項の規定による報告により提出する書類及び図面の提出部数は、正副各1部とする。

(公表の方法)

第34条 条例第36条に規定する公表は、広報への掲載その他の方法により行うものとする。

(委任)

第35条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年3月30日鋸南町規則第31号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (令和3年6月15日鋸南町規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

別表第1 (第2条、第13条第1項、第10条第7項、第17条第4項、第20条第1項、第21条関係)

土壌基準

項目	基準値	測定方法
カドミウム	検液1リットルにつき0.003ミリグラム以下	日本工業規格(以下「規格」という。)K0102の55.2、55.3又は55.4に定める方法
全シアン	検液中に検出されないこと。	規格K0102の38に定める方法(規格K0102の38.1.1に定める方法を除く。)
有機りん	検液中に検出されないこと。	昭和49年環境庁告示第64号付表1に掲げる方法又は規格K0102の31.1に定める方法のうち

		ガスクロマトグラフ法以外のもの（メチルジメトンにあっては、昭和49年環境庁告示第64号付表2に掲げる方法）
鉛	検液1リットルにつき0.01ミリグラム以下	規格K0102の54に定める方法
六価クロム	検液1リットルにつき0.05ミリグラム以下	規格K0102の65.2に定める方法（ただし、規格65.2.6に定める方法により塩分の濃度の高い試料を測定する場合にあっては、規格K0170-7の7のa）又はb）に定める操作を行うものとする。）
ヒ素	検液1リットルにつき0.01ミリグラム以下であり、かつ、埋立て等の用に供する場所の利用目的が農用地（田に限る。）においては、土壌1キログラムにつき15ミリグラム未満	環境上の条件のうち、検液中濃度に係るもの にあっては、規格K0102の61に定める方法、 農用地に係るもの にあっては、昭和50年総理府令第31号に定める方法
総水銀	検液1リットルにつき0.0005ミリグラム以下	昭和46年環境庁告示第59号付表1に掲げる方法
アルキル水銀	検液中に検出されないこと	昭和46年環境庁告示第59号付表2及び昭和49年環境庁告示第64号付表3に掲げる方法
P C B	検液中に検出されないこと	昭和46年環境庁告示第59号付表3に掲げる方法
銅	埋立て等の用に供する場所の土地利用目的が農用地（田に限る。）である場合にあっては、試料1キログラムにつき125ミリグラム未満	昭和47年総理府令第66号に定める方法
ジクロロメタン	検液1リットルにつき0.02ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法

四塩化炭素	検液 1 リットルにつき0.002ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,2—ジクロロエタン	検液 1 リットルにつき0.004ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法
1,1—ジクロロエチレン	検液 1 リットルにつき0.02ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
シス—1,2—ジクロロエチレン	検液 1 リットルにつき0.04ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
1,1,1—トリクロロエタン	検液 1 リットルにつき1ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,1,2—トリクロロエタン	検液 1 リットルにつき0.006ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
トリクロロエチレン	検液 1 リットルにつき0.01ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
テトラクロロエチレン	検液 1 リットルにつき0.01ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,3—ジクロロプロペン	検液 1 リットルにつき0.002ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
チウラム	検液 1 リットルにつき0.006ミリグラム以下	昭和46年環境庁告示第59号付表4に掲げる方法
シマジン	検液 1 リットルにつき0.003ミリグラム以下	昭和46年環境庁告示第59号付表5の第1又は第2に掲げる方法
チオベンカルブ	検液 1 リットルにつき0.02ミリグラム以下	昭和46年環境庁告示第59号付表5の第1又は第2に掲げる方法
ベンゼン	検液 1 リットルにつき0.01ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
セレン	検液 1 リットルにつき0.01ミリグラム	規格K0102の67.2、67.3又は67.4に定める方法
ふっ素	検液 1 リットルにつき0.8ミリ	規格K0102の34.1若しくは34.4に定める方法

	グラム以下	又は規格K0102の34.1c（注（6）第3文を除く。）に定める方法（懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しない場合にあつては、これを省略できる。）及び昭和46年環境庁告示第59号付表6に掲げる方法
ほう素	検液1リットルにつき1ミリグラム以下	規格K0102の47.1、47.3又は47.4に定める方法
水素イオン濃度	4以上9以下であること	規格K0102の12.1に定める方法
塩化ビニルモノマー	検液1リットルにつき0.002ミリグラム以下	平成9年環境庁告示第10号付表に掲げる方法
1,4-ジオキサン	検液1リットルにつき0.05ミリグラム以下	昭和46年環境庁告示第59号付表7に掲げる方法

備考

- 1 基準値の欄中検液中濃度に係るものにあつては、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検液を作成し、これを用いて測定を行うものとする。この場合において、同表中「土壌」とあるのは、「土砂等」と読み替えるものとする。
- 2 基準値の欄中「検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合においてその結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
- 3 有機りんとは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びE P Nをいう。
- 4 水素イオン濃度の測定は、次の操作によるものとする。
 - (1) 乾土20グラム相当量の生土又は風乾細土を100ミリリットルビーカー又はポリ容器にとる。
 - (2) 純水又は塩化カリウム液（1N塩化カリウム液に約N/10水酸化カリウム液を加えてpH7.0に調整したもの）を50ミリリットル加える。（土：純水又は塩化カリウム液＝1：2.5とする。）
 - (3) (2)をかくはん振とうした後1時間以上静置し、この上澄み液を測定に用いる。
 - (4) 結果にはpH（H2O）又はpH（KC1）と付記し、測定条件を明確にする。

水質基準

項目	基準値	測定方法
カドミウム	検液1リットルにつき0.003ミリグラム以下	規格K0102の55.2、55.3又は55.4.2、55.3、55.4に定める方法
全シアン	検液中に検出されないこと。	規格K0102の38.1.2及び38.2に定める方法又は規格K0102の38.1.2及び38.3に定める方法又は規格K0102の38.1.2及び38.5に定める方法
鉛	検液1リットルにつき0.01ミリグラム以下	規格K0102の54に定める方法
六価クロム	検液1リットルにつき0.05ミリグラム以下	規格K0102の65.2に定める方法
ヒ素	検液1リットルにつき0.01ミリグラム以下	規格K0102の61.2、61.3又は61.4に定める方法
総水銀	検液1リットルにつき0.0005ミリグラム以下	昭和46年環境庁告示第59号付表1に掲げる方法
アルキル水銀	検液中に検出されないこと。	昭和46年環境庁告示第59号付表2に掲げる方法
P C B	検液中に検出されないこと。	昭和46年環境庁告示第59号付表3に掲げる方法
ジクロロメタン	検液1リットルにつき0.02ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
四塩化炭素	検液1リットルにつき0.002ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,2-ジクロロエタン	検液1リットルにつき0.004ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法
1,1-ジクロロエチレン	検液1リットルにつき0.1ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
シス-1,2-ジクロロエチレン	検液1リットルにつき0.04ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法

1,1,1-トリクロロエタン	検液1リットルにつき1ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,1,2-トリクロロエタン	検液1リットルにつき0.006ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
トリクロロエチレン	検液1リットルにつき0.01ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
テトラクロロエチレン	検液1リットルにつき0.01ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,3-ジクロロプロペン	検液1リットルにつき0.002ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
チウラム	検液1リットルにつき0.006ミリグラム以下	昭和46年環境庁告示第59号付表4に掲げる方法
シマジン	検液1リットルにつき0.003ミリグラム以下	昭和46年環境庁告示第59号付表5の第1又は第2に掲げる方法
チオベンカルブ	検液1リットルにつき0.02ミリグラム以下	昭和46年環境庁告示第59号付表5の第1又は第2に掲げる方法
ベンゼン	検液1リットルにつき0.01ミリグラム以下	規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
セレン	検液1リットルにつき0.01ミリグラム以下	規格K0102の67.2、67.3又は67.4に定める方法
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	検液1リットルにつき10ミリグラム以下	硝酸性窒素にあつては規格K0102の43.2.1、43.2.3、43.2.5又は43.2.6に定める方法、亜硝酸性窒素にあつては規格K0102の43.1に定める方法
ふっ素	検液1リットルにつき0.8ミリグラム以下	規格K0102の34.1若しくは34.4に定める方法又は規格K0102の34.1c（注（6）第3文を除く。）に定める方法（懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しない場合にあつては、これを省略できる。）及

		び昭和46年環境庁告示第59号付表6に掲げる方法
ほう素	検液1リットルにつき1ミリグラム以下	規格K0102の47.1、47.3又は47.4に定める方法
1,4-ジオキサン	検液1リットルにつき0.05ミリグラム以下	昭和46年環境庁告示第59号付表7に掲げる方法

備考

- 「検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
- 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格K0102の43.2.1、43.2.3、43.2.5又は43.2.6により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと規格K0102の43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。

別表第2（第13条第2項関係）

埋立事業の構造上の基準（一時堆積事業を除く。）

- 事業区域の地盤に滑りやすい土質の層があるときは、その地盤に滑りが生じないようにくい打ち、土の置換えその他必要な措置が講じられていること。
- 著しく傾斜をしている土地において埋立事業を施工する場合にあっては、埋立事業を施工する前の地盤と埋立事業に使用された土砂等との接する面が滑り面とならないよう、当該地盤の斜面に段切り等の措置が講じられていること。
- 埋立て等の高さ（埋立て事業により生じたのり面の最下部（擁壁を用いる場合にあっては、当該擁壁の上端）と最上部の高低差をいう。以下同じ。）及びのり面（擁壁を用いる場合にあっては、当該擁壁部分を除く。以下同じ。）の勾配は、次の表の土砂等の区分の欄に応じ、それぞれ当該埋立て等の高さの欄及び当該のり面の勾配の欄に定めるものであること。

土砂等の区分		埋立て等の高さ		のり面の勾配
砂、れき、砂質土、れき質土、通常の施工性が確保される粘性	建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（平成	土質試験等に基づき埋立て等の構造の安定計算（以下「安	安全が確保される高さ	安全が確保される勾配

土及びこれらに準ずるもの	3年建設省令第19号) 別表第1に規定する第1種建設発生土、第2種建設発生土及び第3種建設発生土	定計算」という。)を行つた場合		
	その他	5メートル以下	10メートル以下	垂直1メートルに対する水平距離が1.8メートル(埋立て等の高さが5メートル以下の場合にあつては、1.5メートル)以上の勾配
	安定計算を行い、安全が確保される高さ	安定計算を行い、安全が確保される高さ		垂直1メートルに対する水平距離が1.5メートル以上の勾配
その他				安定計算を行い、安全が確保される勾配

- 4 擁壁を用いる場合の当該擁壁の構造は、宅地造成等規制法施行令（昭和37年政令第16号）第6条から第10条までの規定に適合すること。
- 5 埋立て等の高さが5メートル以上である場合にあつては、5メートルごとに幅が1メートル以上の段を設け、必要に応じ、当該段及びのり面には雨水等によるのり面の崩壊を防止するための排水溝が設置されていること。また、排水溝を設置した場合においては幅1.5メートル以上の段を設けること。
- 6 埋立て事業の完了後の地盤にゆるみ、沈下又は崩壊が生じないように締め固めその他の措置が講じられていること。
- 7 のり面は、石張り、芝張り、モルタルの吹付け等によって風化その他の侵食に対して保護する措置が講じられていること。
- 8 事業区域（のり面を除く。）は、利用目的が明確である部分を除き、芝張り、植林その他土砂等の飛散防止のための措置が講じられていること。

別表第3（第13条第3項関係）

一時堆積事業の構造上の基準

- 1 事業場の隣接地と事業区域との間に、次の表の左欄に掲げる事業区域の面積の区分に応じ、当該右欄に定める幅の保安地帯が設置されていること。

事業区域の面積	保安地帯の幅
3,000平方メートル未満	4メートル以上

3,000平方メートル以上1ヘクタール未満	6メートル以上
1ヘクタール以上3ヘクタール未満	10メートル以上
3ヘクタール以上5ヘクタール未満	14メートル以上
5ヘクタール以上10ヘクタール未満	18メートル以上
10ヘクタール以上15ヘクタール未満	24メートル以上
15ヘクタール以上20ヘクタール未満	27メートル以上
20ヘクタール以上	30メートル以上

2 土砂等の堆積の高さ（のり面の最下部と最上部の高低差をいう。）が5メートル以下であること。

3 土砂等の堆積ののり面の勾配は、垂直1メートルに対する水平距離が1.8メートル以上の勾配であること。

別表第4（第10条第2項、第14条関係）

1	砂防法（明治30年法律第29号）第4条第1項の規定により砂防指定地における許可を要する行為
2	土地改良法（昭和24年法律第195号）に基づく土地改良事業
3	漁港漁場整備法（昭和25年法律第137号）第39条第1項の規定による漁港の区域内の水域又は公共空地における許可を要する行為
4	港湾法（昭和25年法律第218号）第37条第1項の規定による港湾区域内及び港湾隣接地域内における許可を要する行為
5	森林法（昭和26年法律第249号）第10条の2の規定による許可を要する開発行為並びに同法第31条、第34条第2項及び第44条において準用する第34条第2項の規定による保安林予定森林、保安林及び保安施設地区における許可を要する行為
6	道路法（昭和27年法律第180号）第24条の規定による道路管理者以外の者が行う工事についての承認を要する行為、同法第32条第1項の規定による道路の占用の許可及び同法第91条第1項の規定による道路予定区域における許可を要する行為
7	土地区画整理法（昭和29年法律第119号）に基づく土地区画整理事業及び同法第76条第1項の規定による施行地区内における許可を要する行為
8	都市公園法（昭和31年法律第79号）第6条第1項の規定による都市公園内における占用の許可を要する行為

9	海岸法（昭和31年法律第101号）第7条第1項及び第8条第1項の規定による海岸保全区域内における許可を要する行為
10	自然公園法（昭和32年法律第161号）第20条第3項の規定による特別地域内及び第21条第3項の規定による特別保護地区内における許可を要する行為
11	地すべり等防止法（昭和33年法律第30号）第18条第1項の規定による地すべり防止区域内における許可を要する行為
12	宅地造成等規制法（昭和36年法律第191号）第8条の規定による許可を要する宅地造成
13	河川法（昭和39年法律第167号）第24条の規定による河川区域内の土地の占用の許可を要する行為並びに同法第27条第1項、第55条第1項、第57条第1項及び第58条の4第1項の規定による河川区域内の土地、河川保全区域内、河川予定地及び河川保全立体区域内における許可を要する行為
14	都市計画法（昭和43年法律第100号）第29条第1項及び第2項の規定による許可を要する開発行為
15	都市再開発法（昭和44年法律第38号）に基づく市街地再開発事業及び同法第66条第1項の規定による施行地区内における許可を要する行為
16	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律（昭和44年法律第57号）第7条第1項の規定による急傾斜地崩壊危険区域内における許可を要する行為
17	農業振興地域の整備に関する法律（昭和44年法律第58号）第15条の2第1項の規定による農用地区域内における許可を要する行為
18	都市緑地法（昭和48年法律第72号）第14条第1項の規定による特別緑地保全地区内における許可を要する行為
19	生産緑地法（昭和49年法律第68号）第8条第1項の規定による生産緑地地区内における許可を要する行為
20	大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法（昭和50年法律第67号）に基づく住宅街区整備事業並びに同法第7条第1項及び第67条第1項の規定による土地区画整理促進区域内及び施行地区内における許可を要する行為
21	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第29条第7項の規定による特別保護地区の区域内における許可を要する行為
22	千葉県立自然公園条例（昭和35年千葉県条例第15号）第19条第1項の規定による特別

	地域内における許可を要する行為
23	宅地開発事業の基準に関する条例（昭和44年千葉県条例第50号）第7条第1項の規定による設計の確認を要する宅地開発事業
24	千葉県自然環境保全条例（昭和48年千葉県条例第1号）第9条第4項の規定による特別地区内における許可を要する行為
25	千葉県港湾管理条例（昭和51年千葉県条例第45号）第4条第1項及び第5条第1項の規定による港湾施設の使用の許可を要する行為
26	千葉県林地開発行為等の適正化に関する条例（平成22年千葉県条例第4号）第18条第1項の規定による森林区域における林地開発の届出に関する行為

別表第5（第9条第5項、第23条関係）

住民の区分	小規模事業	特定事業
周辺の土地所有者	当該事業区域から10m以内の範囲に土地を所有する者	当該事業区域から10m以内の範囲に土地を所有する者
近隣の住民等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業区域から50m以内に居住する住民 ・事業区域内の自治会 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業区域から300m以内に居住する住民 ・事業区域内の自治会
水利権者等	事業区域の放流点から100m以内の水利権者及び水利組合	事業区域の放流点から500m以内の水利権者及び水利組合
土砂の搬入道路に隣接して居住する住民等	土砂運搬車両が集積するような運航ルート、利用道路、事業期間、1日当たりの運行台数等により、町長が決定する。	土砂運搬車両が集積するような運航ルート、利用道路、事業期間、1日当たりの運行台数等により、町長が決定する。

第1号様式（第3条第2項関係）

公共的団体認定申請書

年 月 日

鋸南町長 様

申請者

主たる事務所の所在地

名称及び代表者の氏名

電話番号

担当者

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例施行規則第3条第2項の規定により、公共的団体の認定を受けたいので、次のとおり申請します。

1 申請者の資本金、基本金その他これらに準ずるものの出資総額及び申請者に対する出資者のうち地方公共団体の出資金額

(1) 出資総額 千円（ 年 月 日現在）

(2) 地方公共団体別出資金額

地方公共団体名	出資金額
	千円
	千円
	千円
合計	千円

2 土砂等の埋立て等に係る事業の実績

添付書類

- 1 定款
- 2 登記事項証明書
- 3 事業報告書、損益計算書及び貸借対照表

第2号様式（第4条第1項関係）

小規模事業（一時堆積小規模事業）届

年 月 日

鋸南町長

様

事業者等

施工者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
 氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号
 担当者

土地所有者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
 氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第6条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

事業の目的			
小規模事業の区域	土地の所在地	地目	面積(実測)
小規模事業の期間	年 月 日から 年 月 日まで		
条例第6条第1項の許可を必要としない理由			

注 届出者が法人の場合は、署名押印に代えて記名押印を行うことができる。

第3号様式（第7条第2項関係）

事業区域内施工同意書

（埋立事業許可申請者）が施工しようとする次の土地に係る埋立事業については、その施工について異議がないので、同意します。

また、同意の前提として、埋立事業許可申請者から 年 月 日に埋立事業の説明を受け、その内容を確認しました。

土地の所在地	地目	地 籍 (登記事項証明書)	権利の種類	摘要
合計				

ここに同意したことを証するため、署名押印します。

年 月 日

権利者 住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

注 同意者が法人の場合は、署名押印に代えて記名押印を行うことができる。

第4号様式（第8条第2項関係）

周辺土地所有者承諾書

（埋立事業許可申請者）の施工する埋立事業区域の周辺の土地の所有者として、その施工について異議がないので、承諾します。

埋立事業区域の周辺の土地の所在地	地目	地積（登記事項証明書）	摘要
合計			

また、承諾の前提として、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第11条第1項又は第2項に掲げる事項について、埋立事業許可申請者から、
年 月 日に説明を受け、その内容を確認しました。

ここに承諾したことを証するため、署名押印します。

年 月 日

周辺土地所有者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

注 周辺土地所有者が法人の場合は、署名押印に代えて記名押印を行うことができる。

第5号様式（第8条第4項関係）

近隣住民承諾書（兼区長承諾書）

（特定事業許可申請者）の施工する特定事業区域の近隣に居住する世帯の代表者（区の代表者）として、その施工について異議がないので、承諾します。

また、承諾の前提として、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第11条第1項又は第2項に掲げる事項について、特定事業許可申請者から、
年 月 日に説明を受け、その内容を確認しました。

ここに承諾したことを証するため、署名押印します。

年 月 日

世帯（区）の代表者 住所
氏名
電話番号

第6号様式（第8条第6項関係）

関係者承諾書

（埋立事業許可申請者）の施工する埋立事業により影響を受ける者として、その施工について異議がないので、承諾します。

また、承諾の前提として、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第11条第1項又は第2項に掲げる事項について埋立事業許可申請者から、
年 月 日に説明を受け、その内容を確認しました。

ここに承諾したことを証するため、署名押印します。

年 月 日

関係者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

注 関係者が法人の場合は、署名押印に代えて記名押印を行うことができる。

第7号様式（第9条第1項関係）

埋立事業事前協議書

年 月 日

鋸南町長

様

事業者等

施工者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号
担当者

土地所有者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり協議します。

埋立事業の目的		
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆 (詳細は、地番一覧表のとおり)	
面積	事業場の面積 (実測) m ²	うち事業区域の面積 (実測) m ²
埋立事業に供する施設の設置計画及び位置・・・別添図面のとおり		
現場責任者の職名及び氏名		
埋立事業に使用される土砂等の量	m ³	
埋立事業の期間	年 月 日から 年 月 日まで	
埋立事業が完了した場合の事業区域の構造・・・別添図面のとおり		
埋立事業に使用される土砂等の搬入計画に関する事項・・・別添のとおり		
埋立事業が施工されている間において、事業区域内で採水をするための必要な措置・・・別添図面のとおり		
埋立事業が施工されている間において、事業区域以外の地域への当該埋立事業に使用された土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の発生を防止するための必要な措置・・・別添図面のとおり		

第8号様式（第9条第3項関係）

一時堆積事業事前協議書

年 月

鋸南町長

様

事業者等

施工者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号
担当者

土地所有者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり協議します。

埋立事業の目的				
事業場の土地の所在地	鋸南町	ほか	筆	
	(詳細は、地番一覧表のとおり)			
面積	事業場の面積		うち事業区域の面積	
	(実測)	m ²	(実測)	m ²
埋立事業に供する施設の設置計画及び位置・・・別添図面のとおり				
現場責任者の職名及び氏名				
埋立事業区域の表土の地質の状況・・・別添のとおり (表土と埋立事業に使用される土砂等が遮断される構造の場合・・・別添図面のとおり)				
埋立事業の期間	年	月	日から	年 月 日まで
年間の埋立事業に使用される土砂等の搬入及び搬出の予定量	年間の搬入予定量	m ³	1日平均	m ³
	年間の搬出予定量	m ³	1日平均	m ³
埋立事業に供する施設及び土砂等の堆積の構造・・・別添図面のとおり				
事業区域から排水を事業場内で採水するための必要な措置・・・別添図面のとおり				
埋立事業に使用される土砂等について、発生場所ごとに当該土砂等を区分するための必要な措置・・・別添図面のとおり				

第9号様式（第9条第6項関係）

埋立事業説明実施状況報告書

年 月 日

鋸南町長

様

事業者等

施工者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

担当者

土地所有者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第9条第2項及び第16条第4項の規定により、次のとおり報告します。

開催日時	年 月 日 時から 時まで
開催場所	
出席した住民の区分（番号に丸をつける。）	1. 周辺の土地所有者 2. 近隣の住民等 3. 水利権者 4. 土砂の搬入道路に隣接して居住する住民等 5. その他
出席者の人数	関係住民 名 その他 名
開催状況	説明者の職氏名 説明概要、関係住民からの要望、説明者の回答等について記載すること（開催できなかった場合は、対応状況等を記載）。

添付書類

- 1 説明会の出席者名簿
- 2 説明会の際に出席者に配布した資料

埋立事業事前協議済書

鋸南町指令第 号
年 月 日

様

鋸南町長

年 月 日付けで協議のあった埋立事業事前協議については、協議が成立したので通知します。

なお、当該通知日から起算して2年以内に鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第11条に規定する許可の申請がされない場合には、当該事前協議成立の効力を失います。

埋立事業事前協議延長申出書

年 月 日

鋸南町長 様

事業者等

施工者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

担当者

土地所有者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

年 月 日付けで開始した埋立事業の事前協議について、下記の理由により協議の延長を申し出ます。

記

1 理由

2 協議を延長しようとする期間

年 月 日から 年 月 日まで

埋立事業許可申請書

年 月 日

鋸南町長

様

事業者等

施工者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

担当者

土地所有者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第11条第1項の規定により埋立事業の許可を受けたいので、次のとおり申請します。

埋立事業の目的		
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆 (詳細は、地番一覧表のとおり)	
面積	事業場の面積 (実測) m ²	うち事業区域の面積 (実測) m ²
埋立事業に供する施設の設置計画及び位置・・・別添図面のとおり		
現場責任者の職名及び氏名		
事業区域の表土の地質の状況・・・別添のとおり		
埋立事業に使用される土砂等の量		
埋立事業の期間	年 月 日から 年 月 日まで	
埋立事業が完了した場合の事業区域の構造・・・別添図面のとおり		
埋立事業に使用される土砂等の搬入計画に関する事項・・・別添のとおり		
埋立事業が施工されている間において、事業区域内で採水をするための必要な措置・・・別添図面のとおり		
埋立事業が施工されている間において、事業区域以外の地域への当該埋立事業に使用された土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の発生を防止するための必要な措置・・・別添図面のとおり		

誓 約 書

年 月 日

鋸南町長 様

事業者等

施工者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

担当者

土地所有者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

私は、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第13条第1項第4号ア及びキのいずれにも該当しない者であることを誓約いたします。

第14号様式（第10条第2項、第17条第3項、第20条第1項関係）
検査試料採取調書

年 月 日

採取業者

住 所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

氏 名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

採取者 職氏名

電話番号

別添地質分析（濃度）結果証明書（水質分析（濃度）結果証明書）検査試料を次のとおり採取しました。

検体区分及び番号	
報告区分	地質（表土・搬入・定期・廃止・完了） 水質（定期・廃止・完了）
採取年月日	
採取日の天候	
地質分析の場合の採取深度（m）	
発生場所の工事名	
発生場所の事業者	

注 検体区分及び番号の欄は、この調査に係る地質分析（濃度）結果証明書、水質分析（濃度）結果証明書に記載された番号等を記載すること。

第15号様式（第10条第2項、第17条第3項、第20条第1項関係）
地質分析（濃度）結果証明書

年 月 日

様

発行番号
分析機関名
代表者
所在地
電話番号
計量証明事業者の登録番号
環境計量士

年 月 日に依頼のあった検体について、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検液を作成し、計量した結果を次のとおり証明します。

（検体区分 ）

項目	単位	測定値	定 量 下限値	基準値	測定方法
カドミウム	mg/l			0.01	日本工業規格 K0102 55
全シアン	mg/l			不検出	日本工業規格 K0102 38 (38.1.1の方法を除く)
有機りん	mg/l			不検出	昭和49.環告第64号付表1、日本工業規格 K0102 31.1 のガスクロマトグラフ法以外のもの
鉛	mg/l			0.01	日本工業規格 K0102 54
六価クロム	mg/l			0.05	日本工業規格 K0102 65.2
砒素	mg/l			0.01	日本工業規格 K0102 61
総水銀	mg/l			0.0005	昭和46.環告第59号付表1
アルキル水銀	mg/l			不検出	昭和46.環告第59号付表2及び昭和49.環告第64号付表3
PCB	mg/l			不検出	昭和46.環告第59号付表3
ジクロロメタン	mg/l			0.02	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
四塩化炭素	mg/l			0.002	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
1, 2-ジクロロエタン	mg/l			0.004	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.3.2
1, 1-ジクロロエチレン	mg/l			0.02	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/l			0.04	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2

1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/l			1	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/l			0.006	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
トリクロロエチレン	mg/l			0.03	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
テトラクロロエチレン	mg/l			0.01	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
1, 3-ジクロロプロペン	mg/l			0.002	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1
チウラム	mg/l			0.006	昭和46.環告第59号付表4
シマジン	mg/l			0.003	昭和46.環告第59号付表5第1、第2
チオベンカルブ	mg/l			0.02	昭和46.環告第59号付表5第1、第2
ベンゼン	mg/l			0.01	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
セレン	mg/l			0.01	日本工業規格 K0102 67.2、67.3、67.4
ふっ素	mg/l			0.8	日本工業規格 K0102 34.1、34.4、昭和46.環告第59号付表6
ほう素	mg/l			1	日本工業規格 K0102 47.1、47.3、47.4
水素イオン濃度				4以上 9以下	日本工業規格 K0102 12.1
砒素 【農用地（田に限る）】	mg/kg			15	昭和50.総令第31号第1条第3項及び第2条
銅 【農用地（田に限る）】	mg/kg			125	昭和47.総令第66号第1条第3項及び第2条
塩化ビニルモノマー	mg/l			0.002	平成9.環告第10号付表
1,4-ジオキサン	mg/l			0.05	昭和46.環告第59号付表7
検体の性状	形状		色		におい
備考	発生場所： 工事名： 発生事業者名： 計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合の当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業所の所在地： 注 定量下限値をそれぞれの欄に明記すること。				

第16号様式（第4条第2項、第10条第2項、第17条第5項関係）
土砂等売渡・譲渡証明書

年 月 日

埋立事業者 様

売渡・譲渡元事業者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

（埋立事業者名） が鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例に基づき埋立事業の区域に搬入する土砂等については、現在、岩石、砂利又は土の採取計画の許認可等を受けている下記の採取場から採取された土砂等であることに相違ありません。

許認可採取場の所在地	
採取計画許認可番号	
許認可期間	年 月 日から 年 月 日まで
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆
売渡し又は譲渡しの土量	m ³
売渡し又は譲渡しの期間	年 月 日から 年 月 日まで

注 条例第6条第1項第2号に規定する許認可等を証する書類の写しを添付すること。

世帯数調査書

年 月 日

鋸南町長 様

事業者等

施工者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号
 担当者

土地所有者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号

- 1 調査年月日 年 月 日
 2 居住する世帯数
 3 特定事業の事業区域から300メートル以内の範囲の区域に居住する者の世帯の住所及び代表者の氏名

番号	住所	代表者の氏名	承諾
合計	—	名	承諾者 名

注 縮尺2,500分の1程度の地図に調査対象区域及び上表の番号並びに世帯の位置を赤丸で記入したものを添付すること。また、承諾が得られた世帯は、上記の承諾の欄に○を記入すること。

一時堆積事業許可申請書

年 月 日

鋸南町長

様

事業者等

施工者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号
 担当者

土地所有者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第11条第2項の規定により埋立事業の許可を受けたいので、次のとおり申請します。

埋立事業の目的			
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆 (詳細は、地番一覧表のとおり)		
面積	事業場の面積 (実測) m ²	うち事業区域の面積 (実測) m ²	
埋立事業に供する施設の設置計画及び位置・・・別添図面のとおり			
現場責任者の職名及び氏名			
埋立事業の計画期間	年 月 日から 年 月 日まで		
事業区域の表土の地質の状況・・・別添のとおり (表土と埋立事業に使用される土砂等が遮断される構造の場合・・・別添図面のとおり)			
年間の埋立事業に使用される土砂等の搬入及び搬出の予定量	年間の搬入予定量 t	1日平均	m ³
	年間の搬出予定量 t	1日平均	m ³
埋立事業に供する施設及び土砂等の堆積の構造・・・別添図面のとおり			
事業区域からの排水を事業場内で採水するための必要な措置・・・別添図面のとおり			
埋立事業に使用される土砂等について、発生場所ごとに当該土砂等を区分するための必要な措置・・・別添図面のとおり			

埋立事業に係る許可（不許可）決定通知書

鋸南町指令第 号
年 月 日

様

鋸南町長

年 月 日付けで許可（変更許可・譲受け許可）申請のあった埋立事業（一時堆積事業）については、下記のとおり許可（不許可）とします。

記

- | | | | | |
|---|----------------|---------|----------------|---|
| 1 | 事業場の土地の所在地 | 鋸南町 | ほか | 筆 |
| 2 | 事業場の面積特定事 | | m ² | |
| 3 | 事業区域の面積 | | m ² | |
| 4 | 許可期間 | 年 月 日から | 年 月 日まで | |
| 5 | 許可土量 | | m ³ | |
| 6 | 変更又は譲受けにあっては | 年 月 日 | 鋸南町指令第 号 | |
| | 従前の許可年月日及び許可番号 | | | |
| 7 | 許可の条件（不許可の理由） | | | |

- 注 1 この処分に不服があるときは、この決定書を受け取った日の翌日から起算して60日以内に町長に対し異議申立てをすることができます。
- 2 この処分の取消しを求める訴えは、この決定書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に鋸南町を被告として（町長が被告の代表者となります。）提起することができます。なお、この処分の日から1年を経過すると、この処分の取消しを求める訴えを提起することができなくなります。

第20号様式（第15条第2項関係）

埋立事業（一時堆積事業）変更許可申請書

年 月 日

鋸南町長

様

事業者等

施工者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号

担当者

土地所有者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号

年 月 日付け鋸南町指令第 号で許可を受けた事項について
 変更したいので、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条
 例第16条第3項の規定により、次のとおり申請します。

	変更後	変更前
変更する事項の内容		
変更の理由		

埋立事業軽微変更届

年 月 日

鋸南町長

様

事業者等

施工者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号
担当者

土地所有者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

年 月 日付け鋸南町指令第 号の許可を受けた事項について
軽微な変更をしたので、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する
条例第16条第10項の規定により、次のとおり届け出ます。

- 1 事業場の土地の所在地 鋸南町 ほか 筆
- 2 埋立事業の許可期間 年 月 日から 年 月 日まで
- 3 軽微な変更の内容

	変更後	変更前
氏名（名称）		
住所（所在地）		
法人の代表者		
法定代理人の氏名又は住所		
現場事務所の位置		
現場責任者の職名又は氏名		
埋立事業に使用される土砂等の量（一時堆積事業の場合は搬入及び搬出の予定量）		
埋立事業に使用される土砂等の搬入計画		
水質検査の試料を採取する方法の変更		
埋立事業に使用される土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の発生を防止するために必要な措置として設けた施設等の構造		
変更の理由		

注 1 住所又は氏名の変更の場合にあっては住民票の写し又は戸籍抄本を、法人の所在地、名称又は代表者の変更の場合にあっては登記事項証明書を添付すること。

2 申請者が未成年者である場合には、その法定代理人の住民票の写し（法定代理人が法人である場合にあっては、その登記事項証明書）を添付すること。

3 その他町長が必要とする書類又は図面を添付すること。

埋立事業着手届

年 月 日

鋸南町長

様

事業者等

施工者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
 氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号

担当者

土地所有者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
 氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号

土砂等の埋立て等に着手したので、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第18条の規定により、次のとおり届け出ます。

埋立事業の許可年月日	年 月 日 鋸南町指令第 号
埋立事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆
着手年月日	年 月 日
土砂等搬入届(最も早いもの)の提出年月日	年 月 日

土砂等搬入届

年 月 日

鋸南町長

様

事業者等

施工者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

担当者

土地所有者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

年 月 日付け鋸南町指令第 号で許可を受けた埋立事業に係る、土砂等を搬入したいので、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第19条の規定により、次のとおり届け出ます。

1 土砂等の発生場所並びに発生元事業者名及び連絡先

発生場所

発生元事業者名

電話番号

2 地質検査の試料を採取した地点を明らかにした土砂等の発生場所の平面図及び土砂等の発生場所の現場写真・・・別添のとおり

3 土砂等の発生場所の工事名

4 土砂等の搬入予定量 m^3 うち今回の搬入量 m^3

5 土砂等の搬入期間 年 月 日から 年 月 日まで

6 土砂等の運搬事業者名（すべて記載のこと。）

第24号様式（第17条第2項関係）

土砂等発生元証明書

年 月 日

様

発生元事業者

住 所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

氏 名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

現場責任者

電話番号

次のとおり搬出する土砂等が次の工事現場から発生し、又は採取された土砂等であることを証明します。

なお、これらの土砂等は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第2条第1項に規定する廃棄物ではありません。

工事名	
工事施工場所	
工事発注者	監督員 電話番号
工事施工期間	年 月 日 から 年 月 日まで
当該工事に係る土砂等発生総量	m ³ （うち搬出契約量 m ³ ）
今回の証明に係る土砂等の量	m ³ （5,000m ³ 以内）
発生土砂等の地質分析（濃度） 結果証明書の有無	有 ・ 無 別紙のとおり
発生土砂等の区分	（第1種・第2種・第3種）建設発生土・その他 （ ）
発生土砂等運搬契約者名 （すべて記載のこと。）	住所 氏名 住所 氏名 住所 氏名 住所 氏名
発生土砂等埋立事業者名	（一時堆積事業場） 住所 氏名 （埋立て等の事業場） 住所 氏名

注 発生土砂等の区分の欄には、建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（平成3年建設省令第19号）別表第1に規定する区分を記載すること。

第25号様式（第18条第1項関係）

土砂等管理台帳

（ 年 月 分）

埋立事業の許可事業者名	
埋立事業の許可年月日及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆
事業区域の面積	m ²
埋立事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで
使用される土砂等の量	m ³
現場責任者の職名・氏名 (連絡先電話番号)	

発生元事業者名及び住所 (連絡先電話番号)	
工事施工場所	
土砂等の発生場所の工事名	
工事現場の責任者氏名	
搬入土砂等の区分	
工事施工期間	年 月 日から 年 月 日まで
土砂等搬入契約量	m ³
土砂等搬入期間	年 月 日から 年 月 日まで
土砂等運搬契約者名	

日付	搬入量 (m ³)	千葉県内の発生場所から事業場への運搬手段(該当項目すべてに○印を記入)			摘要
		陸上輸送		海上輸送	
		発生場所からの直送	一時的堆積事業()を經由	積込地() ↓ 積卸地() 海上輸送前後は陸上輸送となる。	
前月までの累計					
1					
2					
3					

4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
計 (残)					
累計					

- 注 1 この土砂等管理台帳は、発生場所ごとに作成し、土砂等の搬入過程を1日ごとに記入すること。
- 2 年度ごとに閉鎖すること。
- 3 摘要の欄には、船名及び土砂等搬入届年月日等を記入すること。
- 4 搬入土砂等の区分の欄には、建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令別表第1に規定する区分を記載すること。

第26号様式（第18条第1項関係）

一時堆積土砂等管理台帳

（ 年 月分）

一時堆積事業の許可事業者名	
埋立事業の許可年月日及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆
事業区域の面積	m ²
一時堆積事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで
使用される土砂等の搬入及び搬出量	年間の搬入予定量 m ³ 1日平均 m ³ 年間の搬出予定量 m ³ 1日平均 m ³
現場責任者の職名・氏名 （連絡先電話番号）	

発生元事業者名及び住所 （連絡先電話番号）	
工事施工場所	
土砂等の発生場所の工事名	
工事現場の責任者の氏名	
搬入土砂等の区分	
工事施工期間	年 月 日から 年 月 日まで
土砂等搬入契約量	m ³
土砂等搬入期間	年 月 日から 年 月 日まで
土砂等運搬契約者名	

日付	搬入量 (t)	搬入に係る運搬手段（該当項目すべてに○印を記入）		事業場への搬出				摘要	
				搬出先	搬出先	搬出先	合計		
		陸上輸送	海上輸送						
		発生場所からの直送	一時的た い積事業 場() を經由	積込地 () ↓ 積卸地 () 海上輸送 前後は陸 上輸送と なる。	搬出量 (t)	搬出量 (t)	搬出量 (t)	搬出量 (t)	
前月までの累計							残()		
1									

2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
計 (残)								残()	
累計									

- 注 1 この土砂等管理台帳は、発生場所ごとに作成し、土砂等の搬入過程を1日ごとに記入すること。
- 2 年度ごとに閉鎖すること。
- 3 摘要の欄には、船名及び土砂等搬入届年月日等を記入すること。
- 4 搬入土砂等の区分の欄には、建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令別表第1に規定する区分を記載すること。

埋立事業状況報告書

年 月 日

鋸南町長

様

事業者等

施工者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

担当者

土地所有者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第20条第2項の規定により、埋立事業の状況を次のとおり報告します。

埋立事業の許可年月日及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号				
埋立事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで				
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆				
事業区域の面積	m ² (うち今回実施済面積				m ²)
	(総実施済面積				m ²)
埋立事業に使用される土砂等の量	m ³ (うち今回実施済量				m ³)
	(総実施済量				m ³)
今回の報告に係る期間	年 月 日から 年 月 日まで				
発生場所・工事名	搬入予定量 (t)	前回累計量 (t)	今回報告量 (t)	累計量 (t)	備考
合計					

一時堆積事業状況報告書

年 月 日

鋸南町長 様

事業者等

施工者 住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

担当者

土地所有者 住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第20条第2項の規定により、埋立事業の状況を次のとおり報告します。

一時堆積事業の許可年月日及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号				
一時堆積事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで				
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆				
今回の報告に係る期間	年 月 日から 年 月 日まで				
発生場所・工事名	前回までの処分残量 (m ³)	搬入量 (m ³)	搬出量 (m ³)	堆積場所区分の有無	備考
合計					

埋立事業地質等検査報告書

年 月 日

鋸南町長 様

事業者等
 施工者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
 氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号
 担当者
 土地所有者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
 氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第21条第1項の規定により、地質等の検査結果を次のとおり報告します。

埋立事業の許可年月日 及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆
埋立事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで
土砂等及び浸透水等の採取場所・・・別添図面及び現場写真のとおり	
地質分析（濃度）結果証明書・・・別添のとおり	
水質分析（濃度）結果証明書・・・別添のとおり	

第30号様式（第22条第1項関係）

水質分析（濃度）結果証明書

年 月 日

様

発行番号
 分析機関名
 代表者
 所在地
 電話番号
 計量証明事業者の登録番号
 環境計量士

年 月 日に依頼のあった検体について、計量した結果を次のとおり証明します。

（検体区分 ）

項目	単位	測定値	定量下限値	基準値	測定方法
カドミウム	mg/l			0.003	日本工業規格 K0102 55.2、55.3、55.4
全シアン	mg/l			不検出	日本工業規格 K0102 38.1.2 及び 38.2、38.1.2 及び 38.3、38.1.2 及び 38.5 (38.1.1 の方法を除く)
鉛	mg/l			0.01	日本工業規格 K0102 54
六価クロム	mg/l			0.05	日本工業規格 K0102 65.2
素	mg/l			0.01	日本工業規格 K0102 61
総水銀	mg/l			0.0005	昭和 46. 環告第 59 号付表 1
アルキル水銀	mg/l			不検出	昭和 46. 環告第 59 号付表 2
P C B	mg/l			不検出	昭和 46. 環告第 59 号付表 3
ジクロロメタン	mg/l			0.02	日本工業規格 K0125 5.1、 5.2、5.3.2
四塩化炭素	mg/l			0.002	日本工業規格 K0125 5.1、 5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
1, 2-ジクロロエタン	mg/l			0.004	日本工業規格 K0125 5.1、 5.2、5.3.1、5.3.2
1, 1-ジクロロエチレン	mg/l			0.1	日本工業規格 K0125 5.1、 5.2、5.3.2

シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/ℓ			0.04	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.2
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/ℓ			1	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/ℓ			0.006	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
トリクロロエチレン	mg/ℓ			0.01	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
テトラクロロエチレン	mg/ℓ			0.01	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1、5.5
1, 3-ジクロロプロペン	mg/ℓ			0.002	日本工業規格 K0125 5.1、5.2、5.3.1
チウラム	mg/ℓ			0.006	昭和 46. 環告第 59 号付表 4
シマジン	mg/ℓ			0.003	昭和 46. 環告第 59 号付表 5 第 1、第 2
チオペンカルブ	mg/ℓ			0.02	昭和 46. 環告第 59 号付表 5 第 1、第 2
ベンゼン	mg/ℓ			0.01	日本工業規格 K0102 5.1、5.2、5.3.2
セレン	mg/ℓ			0.01	日本工業規格 K0102 67.2、67.3、67.4
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ			10	硝酸性窒素：日本工業規格 K0102 43.2.1、43.2.3、43.2.5、43.2.6 亜硝酸性窒素：日本工業規格 K0102 43.1
ふっ素	mg/ℓ			0.8	日本工業規格 K0102 34.1、34.4、昭和 46. 環告第 59 号付表 6
ほう素	mg/ℓ			1	日本工業規格 K0102 47.1、47.3、47.4
1, 4-ジオキサン	mg/ℓ			0.05	付表 7 に掲げる方法
備考	計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合の当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地				

第31号様式（第24条第1項関係）

埋立事業に関する標識		
埋立事業の許可年月日及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号	
埋立事業の目的		
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆	
施工者の住所、氏名及び連絡先	住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	
	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
	連絡先	
埋立事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで	
事業場及び事業区域の面積	事業場面積 m^2	事業場及び事業区域の見取図
	事業区域面積 m^2	
埋立事業に使用される土砂等の量（一時堆積事業の場合は、年間の搬入及び搬出の予定量）	m^3	
現場責任者の職名及び氏名	職名 氏名	

注 1 標識の大きさは、縦 90 c m 以上、横 120 c m 以上とする。

2 標識の材質は、木板、プラスチック板その他これらに類するものとする。

埋立事業廃止（中止）届

年 月 日

鋸南町長 様

事業者等

施工者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

担当者

土地所有者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

埋立事業を廃止（中止）したので、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第24条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

埋立事業の許可年月日及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆
埋立事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで
埋立事業の廃止年月日（中止期間）	廃止 年 月 日 (年 月 日から 年 月 日まで)
土砂等の搬入計画量及び搬入実績	搬入計画量 m^3 搬入実績 m^3
事業区域の構造・・・別添図面のとおり	

埋立事業廃止（中止）確認通知書

年 月 日

様

鋸南町長

年 月 日付けで届出のあった埋立て事業廃止（中止）届に基づく現地確認結果について、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第24条第4項の規定により、下記のとおり通知します。

記

- | | | | | |
|---|-----------------|-------|--------|---|
| 1 | 事業場の土地の所在地 | 鋸南町 | ほか | 筆 |
| 2 | 許可年月日及び許可番号 | 年 月 日 | 鋸南町指令第 | 号 |
| 3 | 埋立事業廃止（中止）年月日 | 年 月 日 | | |
| 4 | 埋立事業廃止（中止）確認年月日 | 年 月 日 | | |
| 5 | 確認結果 | | | |

埋立事業再開届

年 月 日

鋸南町長 様

事業者等

施工者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

担当者

土地所有者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

埋立事業を再開したので、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例施行規則第23条第4項の規定により、次のとおり届け出ます。

埋立事業の許可年月日及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆
埋立事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで
再開年月日	年 月 日

埋立事業完了届

年 月 日

鋸南町長 様

事業者等

施工者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
 氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号
 担当者

土地所有者 住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
 氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号

埋立事業が完了したので、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛上及び堆積の規制に関する条例第25条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

埋立事業の許可年月日及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆
埋立事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで
埋立事業の完了年月日	年 月 日
完了した事業区域の構造・・・別添図面のとおり	

埋立事業完了確認通知書

年 月 日

様

鋸南町長

年 月 日付けで届出のあった埋立事業完了届に基づく現地確認結果について、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第25条第2項の規定により、下記のとおり通知します。

記

- | | | | |
|---------------|-------|--------|---|
| 1 事業場の土地の所在地 | 鋸南町 | ほか | 筆 |
| 2 許可年月日及び許可番号 | 年 月 日 | 鋸南町指令第 | 号 |
| 3 埋立事業完了年月日 | 年 月 日 | | |
| 4 埋立事業完了確認年月日 | 年 月 日 | | |
| 5 確認結果 | | | |

埋立事業譲受け許可申請書

年 月 日

鋸南町長 様

申請者
 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号
 担当者

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第26条第2項の規定により、埋立事業の譲受けの許可を受けたいので、次のとおり申請します。

埋立事業の許可の年月日及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆
埋立事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで
譲受けの相手方の氏名及び住所	住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
現場責任者の職名及び氏名	
法定代理人の氏名及び住所	
譲受けの理由	

申請者が埋立事業を譲り受けることについてここに承諾したことを証するため、署名押印します。

年 月 日

土地所有者
 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号

注 土地所有者が法人の場合は、署名押印に代えて記名押印を行うことができる。

埋立事業相続等届

年 月 日

鋸南町長 様

届出者
 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号
 担当者

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第6条第1項の許可を受けた者の地位を承継したので、同条例第27条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

埋立事業の許可年月日及び許可番号	年 月 日 鋸南町指令第 号
事業場の土地の所在地	鋸南町 ほか 筆
埋立事業の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで
承継前の事業者等	住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
承継年月日	年 月 日
現場責任者の職名及び氏名	
法定代理人の氏名及び住所	
承継の理由	

- 注 1 承継を証する書面を添付すること。
 2 届出者が未成年者である場合には、その法定代理人の住民票の写し（法定代理人が法人である場合にあっては、その登記事項証明書）を添付すること。
 3 現場責任者であることを証する書面を添付すること。

第39号様式（第29条関係）

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積行為措置命令書

第 号
年 月 日

様

鋸南町長

年 月 日付け鋸南町指令第 号で許可した事業等（あなたが行っている土砂等の埋立等の事業）について、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例に違反しているので、下記の措置を講ずるよう命ずる。

記

1 所在

2 措置命令の内容

(1) 違反条項

(2) 違反内容

3 命令理由

4 措置期限

5 その他

1 この処分について不服がある場合には、行政不服審査法の定めるところにより、この処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、鋸南町長に対して異議申立をすることができます。（なお、この処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この処分の日から起算して1年を経過すると、正当な理由がある場合を除き、異議申立をすることができなくなります。）。

2 また、上記の異議申立をしなくても、行政事件訴訟法の定めるところにより、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、鋸南町長を被告として（訴訟において鋸南町を代表する者は鋸南町長になります。）、処分の取消しの訴えを提起することができます。（なお、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、この処分の日から起算して1年を経過すると、正当な理由がある場合を除き、異議申立をすることができなくなります。）。ただし、上記の異議申立をした場合には、当該異議申立に対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、処分又は決定の取消しの訴えを提起することができます（なお、当該異議申立に対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると、正当な理由がある場合を除き、処分又は決定の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。

第40号様式（第30条関係）

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積行為許可取消し通知書

年 月 日付け鋸南町指令第 号で許可した事業等について、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例に違反しているので、下記のとおり許可を取り消す。

鋸南町長

印

記

1 事業者名

- (1) 事業者の住所及び氏名
- (2) 事業区域の位置
- (3) 事業場の面積
- (4) 事業区域の面積
- (5) 許可期間 年 月 日～ 年 月 日

2 取消しの内容

- (1) 違反条項

- (2) 違反内容

3 違反理由

1 この処分について不服がある場合には、行政不服審査法の定めるところにより、この処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、鋸南町長に対して異議申立をすることができます。（なお、この処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内であっても、この処分の日から起算して1年を経過すると、正当な理由がある場合を除き、異議申立をすることができなくなります。）。

2 また、上記の異議申立をしなくても、行政事件訴訟法の定めるところにより、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、鋸南町長を被告として（訴訟において鋸南町を代表する者は鋸南町長になります。）、処分の取消しの訴えを提起することができます。（なお、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、この処分の日から起算して1年を経過すると、正当な理由がある場合を除き、異議申立をすることができなくなります。）。ただし、上記の異議申立をした場合には、当該異議申立に対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、処分又は決定の取消しの訴えを提起することができます（なお、当該異議申立に対する決定があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、この決定の日の翌日から起算して1年を経過すると、正当な理由がある場合を除き、処分又は決定の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。

第41号様式（第32条関係）
（表）

第 号
立入検査員証明書
所属 氏名 生年月日
上記の者は、鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び堆積の規制に関する条例第35条第1項の規定により、立入検査を行う者であることを証明する。 年 月 日発行
鋸南町長

（裏）

鋸南町土砂等による土地の埋立、盛土及び 堆積の規制に関する条例（抜粋）
（立入検査）
第35条 町長は、この条例の施行に必要な限度において、町長が指定する職員に、土砂等の埋立て等を行う者の現場事務所、事業場その他の業務を行う場所に立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査させ、又は関係者に質問させることができる。
2 前項の規定により当該職員が立ち入るときは、その身分を示す証明書を携帯し、関係者の請求があったときは、関係者に提示しなければならない。
3 第1項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。

注 用紙の大きさは、縦6cm、横9cmとする。